

拠出金名：大西洋まぐろ類保存国際委員会拠出金

国際機関等名	大西洋まぐろ類保存国際委員会 (英文名称・略称) International Commission for the Conservation of Atlantic Tunas (ICCAT)					
種 別	国連本体		国連専門機関		その他	
所轄官庁担当局課名	農林水産省水産庁国際課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%) (注1)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト		
平成16年度	33,919	308		1 \$ = 110 円	(2004年) 70	100
平成15年度	0	0			(2003年) 0	0
平成14年度	21,348	175		1 \$ = 122 円	(2002年) 35	100
事業(プロジェクト)への拠出						
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2004年度決算※注3)		
	国 名	(千ユーロ) (※注2)	率(%)	当該年度の収入 242,363.10EUR		
1位	日本	242	70	当該年度の支出 226,714.59EUR		
2位	フランス	45	13	次年度への繰越 15,648.51EUR		
3位	EC	40	12	会計検査機関名		
4位	米国	17	5	Bernardo TAHOCES ACEBO		
5位				(現在の構成員の出身国:スペイン)		
上記の率及び順位は2004年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
ICCATは地中海を含む大西洋全体における高度回遊性魚類(マグロ・カツオ類)の資源管理を目的とした地域漁業機関である。本海域では、我が国漁船により年間マグロ類が約3万～4万トン、金額で約400億円～500億円が水揚げされており、我が国まぐろ漁業者にとり重要な漁場である。近年沿岸途上国による操業が増加しており、効果的な資源管理の導入が急務となっており、ICCATの果たす役割は重要であると評価。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
ICCATにおいては、毎年加盟国に対して拘束力を有する措置を含む新たな保存管理措置等が定められており、我が国としては、それらの措置の策定過程にも積極的にしかかわる等科学的根拠に基づく保存管理措置を支持する立場にある。このため、我が国、EU等が拠出金を提供し、各種科学調査を実施することにより、機能強化が図られている。						
邦人職員数 うち幹部以上	1人 うち 0 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		22人 5%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
ICCAT事務局に派遣し、コーディネーターとして事業を効率的かつ効果的に実施するための調整、情報収集及び計画立案等を行う。						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2002年～2004年)。

(注2) 我が国からの拠出金はドル建であるが、機関の会計はユーロ建。(我が国拠出金2004年308,338\$=242,363.10EUR)